

平成22年3月25日

広島市議会議長
藤田博之様

提出者
広島市議会議員

谷口修 山田春男

太田憲二 米津欣子

沖宗正明 中原洋美

今田良治 桑田恭子

母谷龍典

若草町地区市街地再開発事業に関する決議案

上記の決議案を別紙のとおり提出する。

若草町地区市街地再開発事業に関する決議案

広島市では、広島駅新幹線口広場に隣接する若草町地区において、新都心成長点にふさわしい業務、商業、都心居住などの複合機能の導入を図り、広島駅新幹線口地区に活気とにぎわいに満ちた新たなシンボル空間を創出することなどを目的として、個人施行方式の市街地再開発事業を推進してきたところである。

また、その進捗状況については、予定どおり、平成22年春の完成に向けて、事業を推進することの説明がこれまで議会・市民に対して行われてきた。

そうした中で、この度、一昨年のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機を背景として、事業の最終段階で保留床の処分が困難となり、再開発の完成が危ぶまれる状況となったことから、これを回避するため、国の制度を活用して、個人施行者が設立する保留床管理法人に対し、その取得に必要な資金の一部として40億円を無利子貸付けすることとし、それに要する経費を計上した平成22年度当初予算案が提案された。

確かに、当該事業は、広島市の陸の玄関である広島駅周辺地区の活性化を図る上で重要な事業であるが、今回の公的支援の原資はあくまで市民の税金である。

また、B・Cブロック再開発など今後の広島市における都市づくりに与える影響を考えると、今後の当該事業については、議会として十分監視していかなければならないものと考ええる。

よって、今後、保留床管理法人の経営状況等若草町地区市街地再開発事業の動向については、議会に対して詳細に報告し、誠実な対応をなされるよう、強く求めるものである。

以上、決議する。

平成22年3月 日

広島市議会